



ており、引き続き厳しい環境下ではありますが、今後も町民の皆様のご意見や地域のニーズを十分踏まえながら、町民に信頼

され期待される町政を推進するため、微力を傾注する所存であります。
変わらぬご高配ご支援を心か

らお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸を祈念いたしまして年頭のご挨拶といたします。

21世紀を展望して

油谷町議会議長

緒方治郎



輝かしい新春にあたり、町議会を代表して町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

私は、昨年一月の町議会において凶らずも議長の重責を負うこととなり、今更ながらその使命の重大さを痛感しつつ、議会の円滑な運営と町政の進展を期し、鋭意努力しているところであります。

振り返ってみますと、昨年は阪神淡路大震災に続いて、サリン事件が発生し、国民に大きな

ショックと不安感を与えてしまいました。更には、我が油谷町の基幹産業である農業にとりましても、昨年十一月からスタートした新食糧法の制度化に伴いまして、米穀の生産、流通、消費をめぐる諸情勢が大転換し、農家の方々も困惑しておられることと思えます。

一方漁業にとりましても、持続的な漁業生産を目指して、官民一体となって取り組んでいる「資源管理型漁業」や「つくり育てる漁業」も大きな期待を寄せているところではあります。が、むつかしい課題が山積していると聞いております。

こうした厳しい状況の中で町の人口も減少しており、これといった歯止め策もないまま、つ

いに九、五〇〇人台となっております。しかも高齢化であります。こうした傾向が商業の方々にとりましても、町内での購買力の低下につながっており、憂慮に耐えないところでもあります。

このような秋にあたり、今こそ全町民が総意を結集して明日の我が町を、二十一世紀を迎えるこのまちに若者がたくさん定住してくれるように、思い切った施策が急務であると思えます。

このすばらしい立地条件を生かしながら、第一次産業の振興策、福祉と保健対策の充実を図り生活の安定を第一主義としつつ、水源対策、油谷湾を中心とする活性化対策など、我々議会人に課せられた責務を遂行し、各位の信託に対しご期待にそうよう努力する決意でございます。

年頭にあたり町民の皆様のご多幸をご祈念いたしますとともに、一層のご支援をお願い申し上げます。ごあいさつといたします。